

No.	よみ	はまどんべつじんじゃ	アクセスマップ	https://goo.gl/maps/wwAzoommn5jtdWc38
浜①	名称	浜頓別神社	所在地	枝幸郡浜頓別町北四条

写真



上段:浜頓別神社

下段(左):石製狛犬(阿像)

下段(右):石製狛犬(吽像)

分類	歴史的建造物
所在市町村	浜頓別町
所在地補足	
構造・仕様等	木造造り
規格・法量等	
該当年代	大正8年(1919) ※現建物は平成2年(1990)に改築
文化財指定	未指定
説明	<p>大正7年に浜頓別(頓別村)の鉄道が開通し、急速に市街地が発展する中で神社建立の機運が高まり、大正8年に現在の位置に建立されます。昭和11年に神明造りの社殿を新築し、昭和17年に村社となります。その後、昭和27年に浜頓別町制施行により頓別村から浜頓別町と変わり名称が「頓別神社」から「浜頓別神社」へ改称となります。さらに社殿は平成2年に新たに造営され、現在に至っています。浜頓別神社の祭神は大山祇神で、社紋は左三つ巴です。</p> <p>狛犬は白色の御影石(花崗岩)を石材としており、保存状態は良好です。いわゆる「岡崎様式」で製作されていますが、岡崎現代様式の狛犬と比べると毛先の円盤が小型で渦の数も少なく、耳はほぼ水平に表現されています。昭和15年に石田要助、尾崎清一ほか4名によって奉納されています。「玉とり子とり」の意匠を採用しており、昭和13年に製作された鬼志別神社狛犬とよく似ています。石工は札幌の苅部石材店です。</p>
公開情報	
参考資料	内山他2009「宗谷管内所在の狛犬」『利尻研究』28号pp.69-82
関連サイト	